

## ■普通救命講習受講率日本一を目指す実施計画の概要

「普通救命講習の市民受講率日本一を目指し、行政と市民が一体となった救急体制の構築」の実現に向け、平成26年度までに年間受講者数4千人、本市の人口比2.5%の市民が、普通救命講習を受講できるようにするための計画として、平成24年度から平成26年度を対象期間とした、第一次実施計画を策定いたしました。

### 実施事項

- ① 応急手当普及員を3年間で新たに180人以上養成するなど指導体制の整備を行います。
- ② ならしの救命普及市民の会（平成24年4月1日設立）及び個人ボランティアと協働するとともに、消防団、消防協力隊を活用し、普通救命講習の実施及び啓発を推進します。
- ③ 年間4,000人が受講できる資器材の整備を図ります。
- ④ 小・中・高・大学の学校関係者、事業所、町会などに対し普通救命講習を実施するとともに、平成26年度までに4,000人の受講者を確保するため、積極的にPR活動を展開します。
- ⑤ 実施計画の年次目標に対する実績等の評価や提言を行うため、町会関係者、医療関係者、学識経験者などによる応急手当普及啓発推進委員会を設置します。
- ⑥ 救命効果の向上を目的とし、近くで事故などが発生した場合、119番通報や応急手当などに協力していただける市民、事業所を協力市民、協力事業所として認定します。

### 実施計画スケジュール表

|                                 | 平成24年度 |     |    | 平成25年度 |     |    | 平成26年度 |     |    |
|---------------------------------|--------|-----|----|--------|-----|----|--------|-----|----|
|                                 | 4月     | 12月 | 3月 | 4月     | 12月 | 3月 | 4月     | 12月 | 3月 |
| 指導体制の整備                         |        |     |    |        |     |    |        |     |    |
| ならしの救命普及市民の会との協働・個人ボランティアとの連携   |        |     |    |        |     |    |        |     |    |
| 救命サポーター事業の推進<br>(協働市民、協力事業所の確保) |        |     |    |        |     |    |        |     |    |
| 市民等に対する普通救命講習の実施及び啓発            |        |     |    |        |     |    |        |     |    |
| 市民受講率（目標数値）                     | 1.7%   |     |    | 2.1%   |     |    | 2.5%   |     |    |
| 市民受講者数（目標数値）                    | 2,700人 |     |    | 3,300人 |     |    | 4,000人 |     |    |

開始月

【問合せ】  
消防本部警防課 047(452)1283